

II 普及活動

1 美術講演・講座

講演講座を実施することにより、美術に対する理解を深め、教育普及に資するとともに展示事業の広報にも役立て、県民の美術への親しみや関心を高める。

(1) 講演会

期日	会場	講演名	講師	内容	参加人数
26. 10. 18	講座室	手をつなぐ医療と芸術	齊藤泰嘉 (筑波大学芸術系教授)	筑波大学が10年ほど前から行っているアートやデザインの力による病院療養環境改善への取り組みについて、詳しく講演した。	26
合計					26

(2) 土曜講座

期日	会場	講演名	担当	内容	参加人数
26. 5. 10	講座室	美術作品の解説についてーロダン「三つの影」を例としてー	小泉淳一 (茨城県近代美術館副参事兼美術課長)	美術鑑賞において解説を求められることが多いが、そもそも芸術の解説は可能なのだろうか。あるいは、何をもちて解説と言うのだろうか。茨城県近代美術館ロビーに展示されているロダンの「三つの影」を例に講演した。	17
26. 7. 5	講座室	生誕100周年記念 中原淳一展にちなんで	稲葉睦子 (茨城県近代美術館主任学芸員)	雑誌「ひまわり」「ジュニアそれいゆ」等を刊行し、戦前から戦後にかけて女性のファッションやインテリア、ライフスタイルについて提案した中原淳一の仕事の魅力について紹介した。	28
26. 9. 13	講座室	美術の冒険 国立国際美術館のコレクションから	井野功一 (茨城県近代美術館主任学芸員)	国立国際美術館コレクション展より、20世紀に展開された新しい美術の流れを紹介。ピカソ、セザンヌ、デュシャン、ウォーホルなどから草間彌生、奈良美智らの日本の現代作家までを解説した。	26
26. 10. 11	講座室	「本の宝石」武井武雄の刊本作品の魅力	林 和男 (茨城県近代美術館首席学芸主事)	「本の宝石」と呼ばれる武井武雄の豆本(刊本作品)の魅力とコンセプトについて紹介し、併せて武井の考案したおもちゃ「イルフトイス」について、そのおもしろさを解説した。	16
26. 11. 8	講座室	現代日本画のみかたー寺田コレクションより	中田智則 (天心記念五浦美術館主任学芸員)	新たな感性と表現によって描かれた時代にふさわしい現代の日本画を紹介し、その魅力と展望について解説した。	28
26. 12. 13	講座室	ワカラナイ ノ ススメー作品鑑賞について考える	吉田 衣里 (茨城県近代美術館主任学芸員)	作品について「ワカラナイ」と感じるものが、新たな出会いにつながるのではないだろうか。作品キャプションを隠すなど、従来とは異なる展示を試みた「ワカラナイノススメ」展の活動を紹介した。	15

期日	会場	講演名	担当	内容	参加人数
26. 1. 10	講座室	作家とアトリエ 作品が生まれる “場”の秘密	永松 左知 (茨城県近代美術館 学芸員)	美術作品と作品が作られる場所のかかわりをテーマに、作家ひとりひとりによって異なるアトリエを紹介。今年 90 回忌を迎える中村彝や、現代の茨城で活躍する作家など、アーティストにとっての創造の場を解説した。	15
26. 3. 14	講座室	笑う美術	澤渡 麻里 (茨城県近代美術館 主任学芸員)	美術からは一見遠いと思われがちな「笑い」を切り口とし、表情としての「笑い」を表現した作品をはじめ、ユーモラスで味わいのある作品、機知に富み観者の「笑い」を生み出す仕掛けを持った作品などを紹介した。	17
合計					162

(3) ワークショップ

期日	会場	講演名	担当	内容	参加人数
26. 11. 22	講座室	ステンシルランタ ンアートワークシ ョップ	小野裕子 (筑波大学芸術系構成 専攻助教)	つくば駅近くのセンター広場を中心として開催された「ランタンアート2014」にちなみ、小中学生を対象にステンシルの技法を用いたランタン作りを行った。	24
合計					24

(4) イベント (貸ギャラリー利用者による展示室でのギャラリートークなど)

期日	会場	展覧会名	タイトル	講師	参加人数
26. 4. 12	展示室	第 30 回記念茨城現展	講評会	出品者	22
26. 6. 1	展示室	第 7 回極美つくば展	授賞式	出品者	33
26. 8. 10	展示室	第 56 回茨城二紀展	講評会	出品者	35
26. 9. 17 ～ 9. 21	展示室	つくば・おとなりの建築家展 6	ワークショップ 「子ども建築家になろう！」	出品者	219
26. 9. 28	展示室	第 33 回茗溪学園美術展	ギャラリートーク	出品者	87
26. 10. 13	展示室	平成 26 年度茨城県高等学校 総合文化祭高等学校美術展覧会 「美術・工芸の部」	交流会	出品者	81
26. 10. 15	展示室	第 5 回つくば美術展～ときめく～	オープニングセレモニー	出品者	63
26. 10. 19	展示室	第 5 回つくば美術展～ときめく～	ギャラリートーク (ケーナアンサンブル)	渡辺大輔(奏者), 岡田 浩安(音楽家), ほか	193
26. 11. 24	展示室	第 30 回筑波大学大学院人間総合科 学研究科博士前期課程芸術専攻洋 画・日本画・版画作品展「MC 展」	洋画領域講評会	筑波大学洋画領域 担当教員	38
26. 11. 30	展示室	平成 26 年度茨城県高等学校総合文 化祭高等学校美術展覧会 「書道の部」	講評会	出品者	165

期日	会場	展覧会名	タイトル	講師	参加人数
26.12.14	展示室	第18回取手松陽美術科展	ミニコンサート	取手松陽音楽科	120
26.12.21	展示室	第69回県南高等学校連合美術展	講評会	出品者	97
26.12.23	展示室	佐藤学展 地をつなぐ vol.5	ギャラリー対談	佐藤学, 外館和子	30
26.12.25	展示室	写真で振り返る「いばらき絵文2014」	ハンドベル演奏会	取手一高ハンドベル部	110
27.1.10	展示室	e【Art】展3 エリザベス・アートスクール	キッズダンス/ソング, ジャズ/ポップコンサート	出品者, ほか	113
27.1.11	展示室	e【Art】展3 エリザベス・アートスクール	キッズワークショップ, ソーラン祭	出品者, ほか	103
27.1.12	展示室	e【Art】展3 エリザベス・アートスクール	アートパフォーマンス	エリザベス・ロブレス (作家), ほか	82
27.2.13	展示室	平成26年度筑波大学芸術専門学群 卒業制作展	講評会	出品者	70
27.2.17	展示室	平成26年度筑波大学大学院人間総合 科学研究科博士前期課程芸術専 攻修了制作展	講評会	出品者	21
27.2.24	展示室	第14回チャレンジアートフェステ ィバル in つくば	オープニングイベント (ミニコンサート, ワ ークショップ)	e m i e (ミニコンサ ート), 太田美菜子, 伊藤三千代 (ワークシ ョップ)	130
27.3.1	展示室	第14回チャレンジアートフェステ ィバル in つくば	クロージングイベント	メロディ・パフェ & MOEMI (コンサート)	168
27.3.8	展示室	新進芸術家育成交流作品展 「FINEART/UNIVERSITY SELECTION 2014-2015」	トークセッション	出品者 招聘作家	153
27.3.14 ～ 3.15	展示室	第1回つくばメディアアートフェ スティバル	展示イベント (オープニングセレモ ニー, ほか)	出品者	216
合計					2,349

(5) クロッキーの会

実施日：毎月第1火曜日，会場：講座室

美術への関心を深めることを目的として，当館ボランティアの運営により月に1度，クロッキーの会を実施している。

総参加者数 314人

(6) 絵画の会

実施日：毎月第3火曜日，会場：講座室

美術への関心を深めることを目的として，当館ボランティアの運営により月に1度，絵画の会を実施している。

人物画，静物画などテーマを決めて制作に取り組んでいる。

総参加者数 173人

2 コンピュータグラフィックス（講座室）

お絵かきや塗り絵など、当館オリジナルのソフトが利用できるパソコンを3台設置し、それらのソフトを来館者が自由に利用できる。小学生を中心に幼児から大人まで幅広く利用されている。また、同室内には幼児、小学生用の画集や絵本、図工書を備えた書架を設置している。

総利用者数 830人

3 ビデオライブラリー（講座室）

映像ソフトを視聴する2つのブースを設置しており、来館者は、美術史や技法及び作家紹介のソフト、子ども向けのアニメーションソフトを自由に選択して視聴することができる。

総利用者数 749人

4 ホームページ(<http://www.tsukuba.museum.ibk.ed.jp>)

●概要

美術館利用者の利便を図り、美術館の情報を発信することを目的としてホームページを作成し、展覧会やイベント案内、貸ギャラリー等の利用案内に関する情報発信を行っている。作成は職員が行っており、毎週内容を更新するとともに、必要に応じて情報を発信している。

●ページ構成（平成27年3月現在）

- ①トップページ
 - ・開催中の展覧会
 - ・イベント情報
 - ・美術館からのお知らせ
- ②貸ギャラリー
- ③スケジュール
- ④展示室利用案内
- ⑤土曜講座
- ⑥ボランティア活動
- ⑦クロッキー・絵画の会
- ⑧施設紹介
- ⑨利用案内・地図
- ⑩過去の企画展

●アクセス数 32,271件

5 メールニュース

美術館の展示内容を紹介するニュースレターを、展覧会ごとに希望者に配信している。ホームページの美術館からのお知らせ欄から申し込みを受け付けている。平成27年3月現在、34名に配信している。

6 広報活動一覧

各種広告媒体を活用し、美術館及び美術館活動に対する理解を深めるとともに、来館者からの意見・要望を広く聴取し、美術館運営の参考とした。

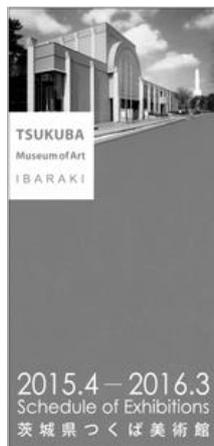
区分	内容	参考
印刷広報	<ul style="list-style-type: none"> ・ギャラリー展の記録2013 ・平成27年度展示予定表 	A4判54ページ：600部 A4（巻三つ折）：15,000部
県広報媒体利用による広報	<ul style="list-style-type: none"> ・県教育広報紙「教育いばらき」 ・県広報紙「ひばり」 	県内各学校及び全教職員を対象に配布 新聞折込（全戸配布）

7 広報印刷物

- ギャラリー展の記録2013 平成26年8月
- 平成27年度展示予定表 平成27年3月



ギャラリー展の記録2013年度



平成27年度展示予定表